

市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

シヨウブ
菖蒲湯や声騒がしき家族風呂

江曾島本町 中村 元吉

●特選の選評

この句に出会って、幼い頃の記憶がよみがえった。5月5日は端午の節句。祖父母、両親に子どもの大家族。年に一度、青々とした菖蒲を湯船に浮かべ、髪を縛ったり、手首にからませたり。中七の「声騒がしき」と下五の「家族風呂」が本当によく分かる。作者の家族だんらんの様子が十七文字の中に、きっちりと言われているのがよかった。

俳句



かかもと としよ
加茂都紀女先生

入選

春愁や自律神経落ち着かず

下栗町 大塚 榮子

川風をもてあそびをり鯉のぼり

平松3丁目 伊藤 安

母の日や臍の緒納む桐の箱

横山2丁目 小野 則雄

薫風の流るる縁に将棋指す

平松本町 飯島 敏夫

特選

たまかぎる夕陽の見えし窓岩の崩れし窓に希望の灯り

日の出1丁目 大島 康正

●特選の選評

能登半島地震の被害に遭った、石川県輪島市の景勝地「窓岩」に思いを寄せた歌です。「夕」「日」や「岩」に掛けて、「たまかぎる」を枕詞にしたのは見事と言えます。被災地に少しでも多くの希望の明かりがとまりますよう祈ります。

短歌



ふじもと としよ
藤本 都先生

入選

コバルトの空はかすみて物音の一つだになき午後のわが町

大曾5丁目 岩淵 照美子

亡き母の丹精こめし牡丹の咲きほこりたり一輪なれど

中岡本町 池田 祐章

空一面キャンバスにして桜花春の喜び豪快に描く

緑2丁目 片嶋 青水

さみどりのポプラの芽吹き空へ向け日ごと書き足す葉形の数を

平出町 田村 成夫

特選

お詫び記事紙面の隅で畏まる

中岡本町 竹内 竹ノ花

●特選の選評

不祥事のおわびの記事が紙面の片隅に掲載されている。それをかきこまると捉えた感性が素晴らしい。しかし謝罪の本質は、事実に至った経緯を明確にし、再発防止への対策と決意を明らかにする事でわびることにあると思っている。

川柳



さいとう たくひさ
佐藤隆久先生

入選

忘却も生きる知恵とし今日笑う

西刑部町 佐藤 榮子

一人身は二合の米で三日持ち

清原台6丁目 小太刀 節子

女子会は安否確認年金日

弥生2丁目 渡辺 裕子

重かったやさしい母のお説教

下栗町 土屋 勝美

俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句(首)以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面＝住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面＝作品(漢字にはふりがなも)・作品への思い。
- 毎月20日(消印有効)までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市HPをご覧ください。

ID 1022877



▲市HP

表

〒320-8540
宇都宮市役所
広報広聴課
住所・氏名・壇名
ふりがな

裏

作品への思い
作品への思い
作品への思い
作品への思い